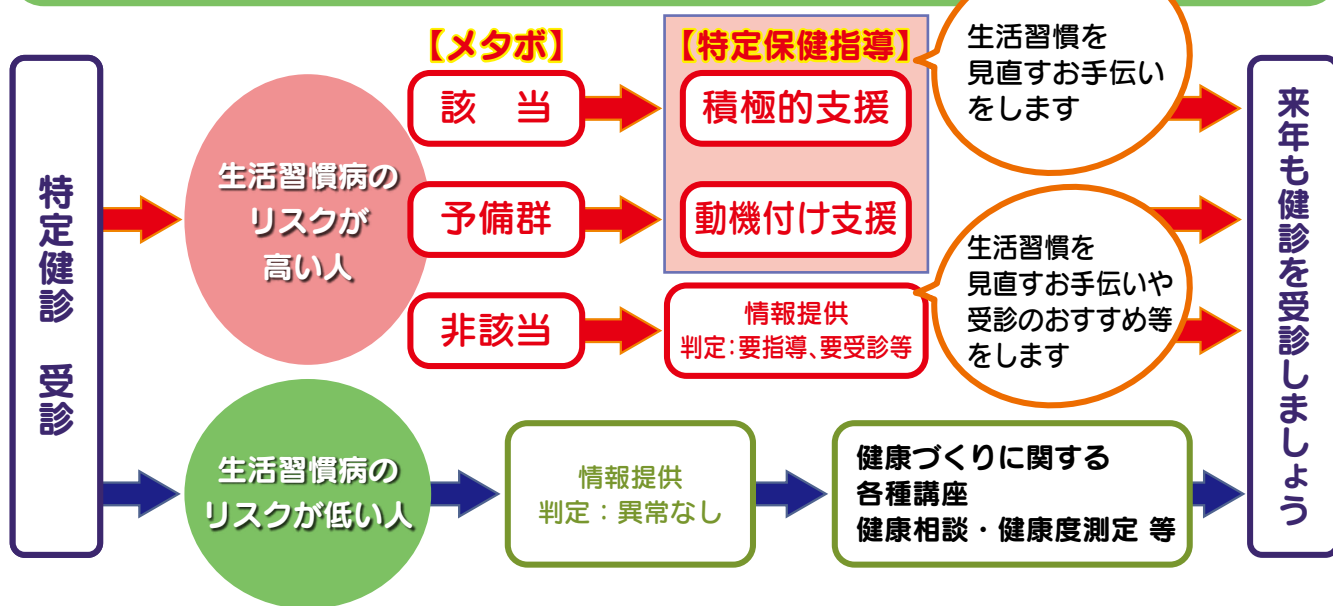
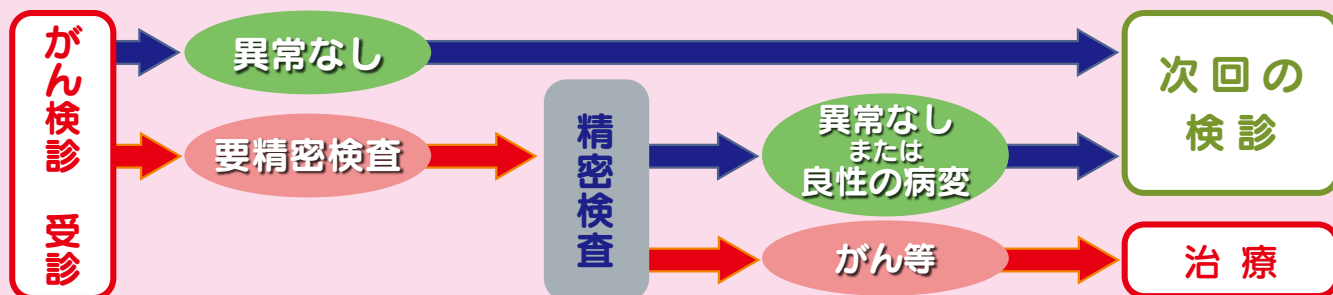


特定健康診査・保健指導等の流れ



がん検診の流れ



がんは、早期発見すれば90%以上が治ります。 ※1
要精密検査の場合は、必ず精密検査を受けましょう。

※1 ここていう「治る」とは、全がんを対象とした、診断時からの5年相対生存率です。
 相対生存率とはがん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数字です。
 出典：がんの統計 '12 資料 全国がん（成人病）センター協議会加盟施設における5年生存率

がん検診のメリット

- **早期のがんを発見でき、死亡率を減らすことができます**
 早期の段階でみつけれられるように、定期的に受けることをおすすめします。
- **がん以外の病気も発見でき、治療に結びつけられます**
 ポリープや潰瘍、異型細胞等、がんになる前の病変で見つかることもあります。経過を観察して必要に応じて治療することで、がんになることを防ぐことができます。

がん検診のデメリット

- **がん検診の判定・診断の結果が100%正しいというわけではありません**
 精度管理に努めていますが、がんの場所や種類によって発見しづらいことがあります。また、がんがなくても要精密検査と診断される場合があります。
- **検査によって身体に負担がかかってしまうことがあります**
 バリウム検査による便秘や内視鏡による出血や穿孔（胃や腸に穴を開けてしまうこと）、放射線による被曝の問題があります。

メリットとデメリットをよく知ったうえでがん検診を受けにこう！

